

対象	小学校 6 年以上
教科	理科
該当 単元	6 学年 「人と環境」 「生物と地球の 環境」
教科書	東京書籍・大日本図書等
掲載日	2014. 8. 28. 夕刊 E 版 3 面

# ダイオウグソクムシ

# 深海のゴミ誤食？



水族館の担当者「人間が捨てたゴミが、深海の生き物にまで影響を与えている」という事実を知ってほしい」と海環境保護を訴えている。

ダイオウグソクムシはメキシコ湾などの深海底に生息し、体長50センチ、体重一キログラムにもなるタンゴムシの仲間。海底に沈んだ死んだ魚などを食べる「海の掃除屋」とも呼ばれる。

人工物は、鳥羽水族館（三重県）、沼津港深海水族館（静岡県）、葛西臨海水族館（東京都）が飼育していた計四匹から見つかった。

鳥羽水族館によると、一月に死んだ個体を解剖した結果未消化の魚肉とともにゴム数本と化学繊維とみられる固まりが見つかった。この個体は昨年七月ごろ、メキシコ湾の約八百メートルの深海で捕まえたという。また

五年間の絶食記録や独特の姿で人気が集まる深海生物ダイオウグソクムシの胃から、ビニールやゴムなどの人工物が見つかる例が国内の水族館で相次いでいることが分かった。メキシコ湾などの生息地で深海に沈んだゴミを誤って食べた可能性がある。



④ 鳥羽水族館が飼育するダイオウグソクムシの胃から見つかった化学繊維とみられる固まりや数本のゴム。いずれも同水族館提供



## 胃からビニールやゴム

五月、今も生きている個体のふんからも段ボールとみられる紙片が発見された。五年間何も食べなかったことで有名になり、今年二月に死んだ個体からは、人工物は見つからなかった。飼育担当の森滝丈也さんは、輸送中や水族館で混入する可能性は低いとしており、「深海で餌と一緒に食べたと思う。海はきれいなイメージがあるが、海底はゴミで汚染されているのではないか」と話した。

沼津港深海水族館では、七月に死んだ個体から長さ十センチ、幅五センチの透明ビニールと段ボールのような紙が見つかった。胃がガスで膨らんでおり、消化不良になったとも考えられるが、死因との関連は不明としている。

問1：ダイオウグソクムシが生息しているのはどのあたりでしょう。

( )などの深海底

問2：ダイオウグソクムシとはどんな生き物なのか、まとめましょう。

体長( )センチメートル、体重( )キログラムにもなる

エサ( )など

別のよび名( )

問3：見出しにある「誤食」とは、どういう意味でしょう。

( )

発展①：ダイオウグソクムシの胃に、ビニールやゴムが残っていたのはなぜでしょう。

ビニールやゴムは( )されないから。

発展②：日本の水族館のダイオウグソクムシから出た人工物を書き出しましょう。

( ) ( )  
( ) ( )